

またこれら、会の発展に適正な指導者を得たことは、望外の事がある。また会の運営は、当分世話人数員に任せて行おうが、後に正式に幹事等の選挙を行い、会員の総意を反映し、組織を一新する。会員の増加は、会の質的充実、経済面の強化にもつたが、知る人知人の友人等への本会入会を、お誘い頂きたい。

〔文献紹介〕

野村 鎮 著 「日本産ヒゲナガビロウドコガネ属に就て」

桐朋学報 第22号 (1972) p. 109~137

Trichoserica 属を Serica 属のシノムとし、1新種・2新亜種・2新名を加えて、日本産18種3亜種の検索表と各種の記載、既知産地が示されている。兵庫県産として次の5種がある。

1. *Serica nigrovariata* Lewis フロホシビロウドコガネ  
氷ノ山 (高橋)

2. *S. boops* Waterhouse ヒゲナガビロウドコガネ  
従来、*niijimai* とされていいたものが、実は本種のことであった。原産地が摩耶山であるが、氷ノ山でも1971年7月中旬に、辻のヤマト、モモケと共に多数採集した。

3. *S. nipponica* Nomura ヤマトビロウドコガネ  
氷ノ山 (辻), 六甲山

4. *S. nitididorsis opacidorsis* Nomura <sup>ホソヒゲナガ</sup>ビロウドコガネ  
氷ノ山 (高橋)

5. *S. trichofemorata* Nomura モモケビロウドコガネ  
氷ノ山 (辻)

辻